

Kansai Economic Insight Monthly

2014/6/19

Vol.14 May/June

・APIR “Kansai Economic Insight Monthly”
は、関西経済とそれに関連する中国経済
の動向に関する分析レポートです。

・本レポートの内容は、公益社団法人関
西経済連合会『関西経済レポート』と連
携しています。

・レポート公開時期は毎月第二週金曜日
を予定しています。

・執筆者は、稲田義久（甲南大学教授、
APIR 研究統括）、岡野光洋・林万平・木
下祐輔（各 APIR 研究員）です。

・本編内の中国景気モニターは、APIR 中
国経済分析のプロジェクトによるもので
あり、関西経済分析と連動して定期的に
発信します。

・本レポートにおける「関西」は、原則
として滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、
奈良県、和歌山県の2府4県です。統計
出所を発表している省庁などが「近畿」
としている場合も「関西」に統一してい
ます。

目次

要旨	1
景気の現況	2
中国景気モニター	8
主要月次統計	10
Release Calendar	11

要 旨

- ✓ 関西の4月鉱工業生産は前月比+0.7%と2カ月連続の上昇。全国と同様、駆け込み需要の反動減が懸念されたものの、足下、消費増税後も関西の生産は増産が続いている。
- ✓ 5月関西の輸出額の伸びは小幅プラスも2カ月連続で減速。一方、輸入は駆け込み需要の反動減もあり小幅マイナスに転じた。結果、貿易収支は3カ月連続の赤字も、赤字幅は縮小。
- ✓ 駆け込み需要の反動減が緩和され、関西の5月景気ウォッチャー現状判断DIは2カ月ぶりに改善。夏の賞与増加の期待などから、先行き判断DIは2カ月連続で改善。同月の消費者態度指数も2カ月連続で改善。
- ✓ 3月の「関西コア」賃金指数は2013年4月以来11カ月ぶりのプラス。4月の全国の現金給与総額は2カ月連続のプラス。今後は関西でも賃金の上昇が期待されるところ。
- ✓ 関西の4月大型小売店販売額は9カ月ぶりの前年比マイナス。百貨店を中心に駆け込み需要の反動減の影響が顕著。
- ✓ 関西の4月新設住宅着工戸数は2カ月連続の前年比プラス。貸家と分譲マンションの好調に支えられ、大幅に上昇した。
- ✓ 関西の4月有効求人倍率は1.01倍と前月比プラス。一方、失業率は4.2%となり、前月比で小幅上昇したものの、雇用情勢は引き続き改善傾向。
- ✓ 5月関西の公共工事請負金額は前年比3カ月連続のプラス。伸び率は20%台が続いており、季節調整値でも2カ月連続の前月比大幅プラス。2014年度に入り、請負金額は好調を維持。
- ✓ 関西の4月建設工事は前年比24カ月連続のプラスも、伸びは9カ月ぶりに1桁となった。請負の好調に比して、出来高は減速感が強い。
- ✓ 中国の5月の製造業PMIは3カ月連続で改善した。しかし、輸出新規受注指数は2カ月連続で50を下回った。雇用指数は24カ月連続で50を下回っている。

【関西経済のトレンド】

	2013年							2014年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
生産	↓	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	
貿易	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↓	↑	↓
センチメント	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↓	↓	↓	↓	↑
消費	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	
住宅	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↑	↑	
雇用	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	
公共工事	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↓	↓	↓	↑	↑
中国	↓	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑		↑	↑	↑

【鉱工業生産動向】

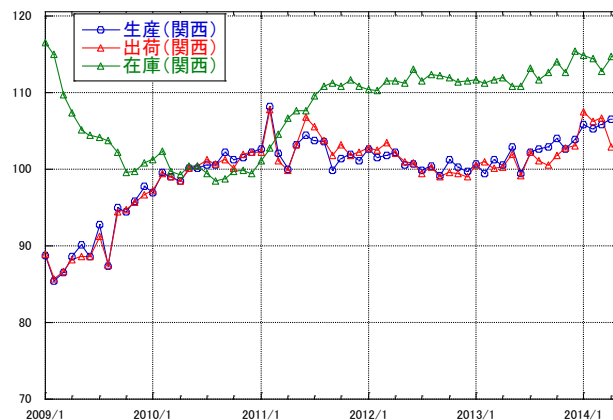
(1) 関西の生産動向

4月の鉱工業指数（速報値：季節調整済）を見ると、生産は106.6で前月比+0.7%と2カ月連続の上昇。出荷は103.0で同-3.5%と2カ月ぶりの下落。在庫は114.7で同+1.7%、と3カ月ぶりの上昇。

業種別に生産指数をみると、電子部品・デバイス(同+9.6%)、金属製品(同+8.2%)、電気機械(同+2.9%)等が上昇した。一方、化学工業(除 医薬品)(同-2.9%)、その他工業(同-7.1%)、鉄鋼業(同-3.2%)等が下落した。

駆け込み需要の反動減が懸念されたものの、足下、消費増税後も関西の生産は増産が続いている。4月実績は、1-3月期平均と比して+0.9%高い水準となっている。

鉱工業指数の推移(関西：2014年4月まで、平成22年=100)

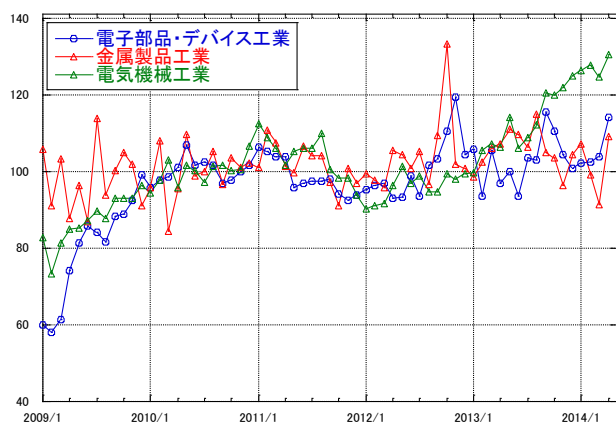


(注) 福井県を含む。

(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

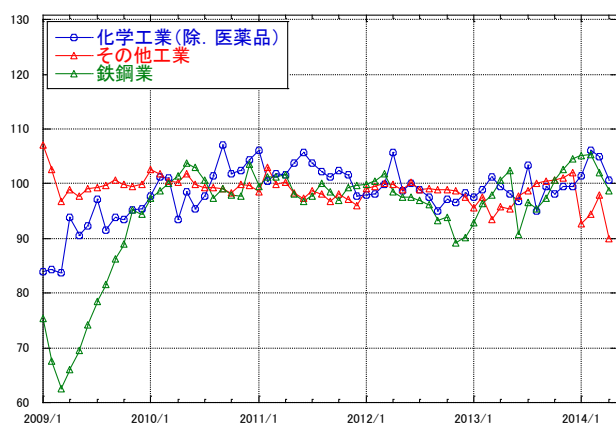
業種別生産指数の推移(関西：2014年4月まで、平成22年=100)

(注) 福井県を含む。



(出所) 「近畿経済の動向」、近畿経済産業局

業種別生産指数の推移(続き)



(2) 全国生産動向

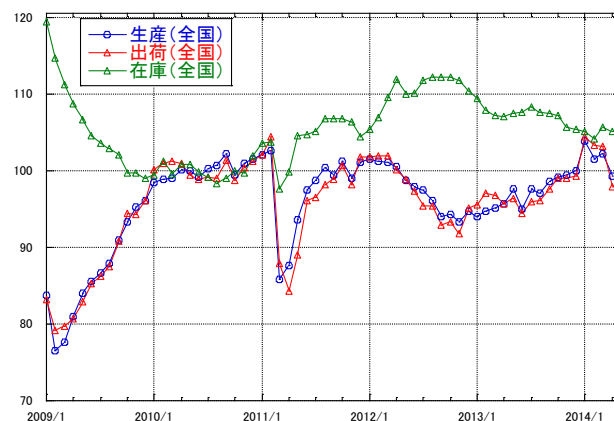
全国における4月の鉱工業生産指数(確報値、季節調整済)は99.3となり前月比-2.8%と2カ月ぶりの下落。出荷は98.0で同-5.0%と3カ月連続の下落。在庫は105.2で同-0.5%と2カ月ぶりのマイナスとなった。

業種別にみると、食料品・たばこ(同-10.1%)、輸送機械(同-2.6%)、電子部品・デバイス(同-5.3%)等を中心に減産となった。一方、金属製品(同+3.2%)、はん用・生産用・業務用機械(同+0.3%)、非鉄金属(同+1.1%)等は増産。

駆け込み需要の反動減により、4月全国の生産は予想通り減産となった。速報時における製造工業生産予測調査によれば、5月は増産が見込まれているため生産は一服していると

考えられる。ただし、6月は減産が想定されており、今後の生産動向を注視する必要がある。

鉱工業指数の推移(全国：2014年4月まで、平成22年=100)



(出所) 「鉱工業指数」、経済産業省

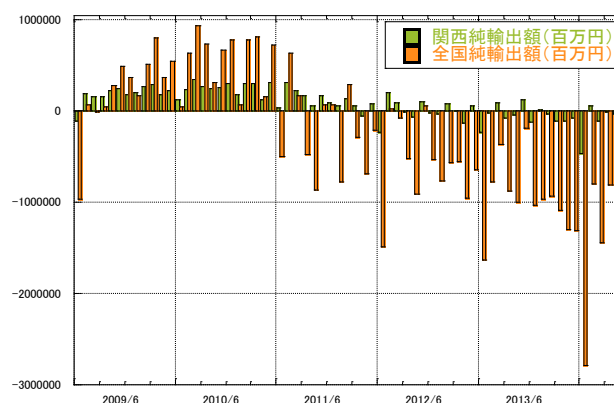
【貿易動向】

(1) 純輸出

5月関西の貿易収支は-277億円と3カ月連続の赤字(前年同月比-35.5%)となったが、赤字幅は3カ月連続で縮小。

全国5月の貿易収支は-9,090億円と23カ月連続の赤字となったが、赤字幅は2カ月連続で縮小(前年同月比-8.3%)。

純輸出(百万円)推移(2014年5月まで)



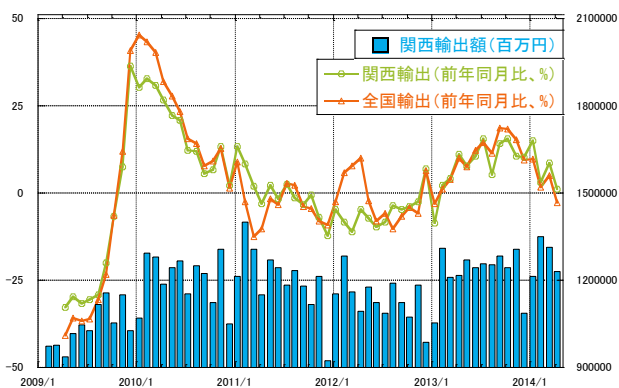
(出所) 「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

(2) 輸出

関西5月の輸出額(速報値)は1兆2,312億円、前年同月比+1.2%と15カ月連続の増加だが、伸びは3カ月連続で1桁となっている。輸出増加に主に貢献したのは、原動機(単月過去最高)、重電機器(単月過去最高)、科学光学機器(単月過去最高)であった。税関長公示レートによる為替レートが前年同月比+2.9%の円安であり、輸出の伸びは弱含みとなった。

全国5月の輸出額(速報値)は5兆6,076億円、前年同月比-2.7%と15カ月ぶりの減少。鉱物性燃料、船舶、自動車等の輸出が減少した。

輸出(右、百万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年5月まで)



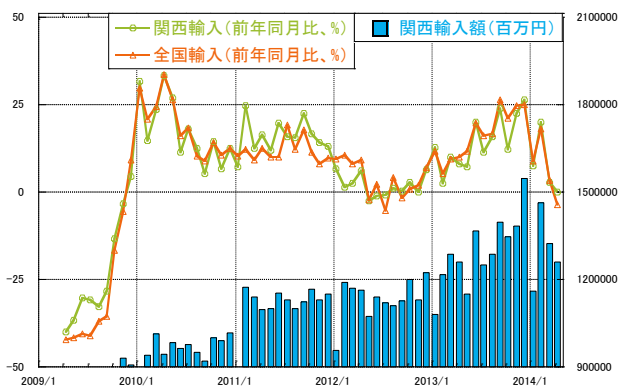
(出所)「大阪税関貿易速報資料：近畿圏」、大阪税関調査統計課

(3) 輸入

5月関西の輸入額(速報値)は1兆2,588億円、前年同月比-0.0%と横ばい。原油及び粗油(単月過去最高額)、天然ガス及び製造ガス(単月過去最高)、医薬品(単月過去最高)等を中心に輸入は増加しているものの、通信機、衣類及び同付属品、鉄鉱石の輸入が大きく減少した。駆け込み需要の反動減による輸入減により、輸入の伸びは一服となった。

全国の5月の輸入額(速報値)は6兆5,165億円、前年同月比-3.6%と19カ月ぶりの減少。原粗油、通信機、石炭等の輸入が減少した。

輸入(右、100万円)・前年同月比(左、%)推移(2014年5月まで)



(出所)「財務省貿易統計」、財務省

(4) 関西の地域別貿易

5月関西の貿易収支を地域別に見ると、対アジア貿易収支は4カ月連続の黒字となった(+1367億円、前年同月比+42.1%)。対中貿易は27カ月連続の赤字、赤字幅は2カ月ぶりに縮小(-735億円、同-35.0%)した。対米貿易は黒字基調が続いているが、黒字幅は2カ月ぶりの減少(+480億円、同-21.5%)。対EU貿易は2カ月ぶりに赤字に転じたが、赤字幅は縮小した(-62億円、同-72.2%)。

輸出動向を地域別に見ると、アジア向け輸出は15カ月連続のプラス(前年同月比+1.4%)。財別では原動機(前年比+20.4%)、また重電機器(同+30.9%)等が輸出増に貢献した。うち、中国向けは2カ月連続のプラス(同+2.7%)となった。非鉄金属(同+109.8%)、通信機(同+65.9%)の輸出が増加。米国向けは2カ月ぶりの減少(同-1.0%)。鉱物性燃料(同-99.1%)、建設用・鉱山用機械(同-34.9%)等の輸出が減少。EU向けは12カ月連続のプラス(同+9.2%)であった。プラスチック(同+38.2%)、医薬品(同+21.2%)等が輸出増に貢献した。

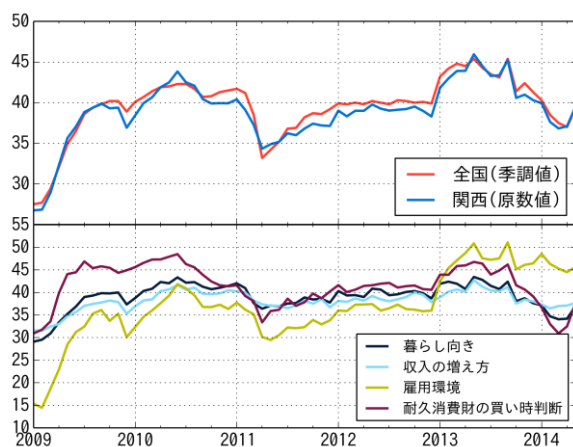
一方、アジアからの輸入は17カ月ぶりの減少(前年同月比-4.0%)、うち中国からの輸入は3カ月ぶりのマイナス(同-7.9%)。財別では、通信機(同-56.9%)、衣類及び同付属品(同-17.8%)の輸入が減少。米国からの輸入は2カ月ぶりに増加(同+13.4%)。EUからの輸入は2カ月連続の減少(同-5.2%)となった。

【消費者センチメント】

(1) 消費者態度指数の動向

関西の5月の消費者態度指数(原数値)は前月比+2.4ポイントの39.5と、2カ月連続で改善した。2013年1月(+3.5ポイント)以来の上昇幅となった。同指数の構成項目をみると、4つの指標全てが前月から改善している。

消費者態度指数(2014年5月まで)



(出所) 内閣府「消費動向調査」(平成26年6月9日公表)

「暮らし向き」は前月比+2.8ポイント、「耐久消費財の買い判断」は同+5.1ポイントといずれも2カ月連続で改善した。

「収入の増え方」も同+0.6ポイントと3カ月連続のプラスとなった。加えて「雇用環境」も同+1.2ポイントと4カ月ぶりにプラスに転じている。

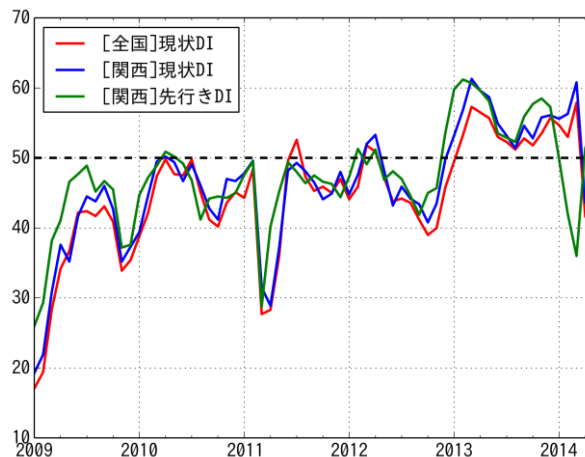
なお全国の5月の消費者態度指数(季節調整値)は39.3となり、前月比+2.3ポイント。6カ月ぶりに前月を上回った。冷え込んでいた消費者心理が改善しはじめたようである。

(2) 景気ウォッチャー指数の動向

関西の5月の現状判断DIは前月比+2.3ポイントと前月の大幅落ち込み(同-17.2ポイント)から2カ月ぶりに改善し45.9となった。百貨店や自動車販売を中心に駆け込み需要の反動減の影響が緩和されつつある。全国も同+3.5ポイントの45.1と2カ月ぶりの改善。

先行き判断DIは、夏の賞与増加の期待などから、関西では同+2.7ポイントの54.1、全国では同+3.5ポイントの53.8となった。いずれも2カ月ぶりの改善。

景気ウォッチャー調査(2014年5月まで)



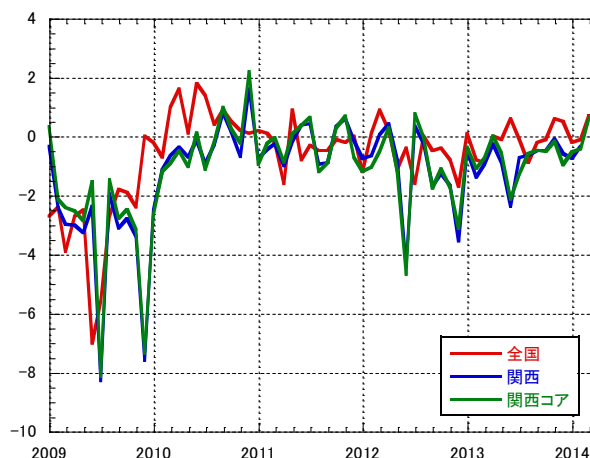
(出所) 内閣府(平成26年6月9日公表)

【所得・個人消費・住宅】

(1) 現金給与総額

2月の関西2府4県の現金給与総額(APIR推計)は25万7,218円と前年同月比-0.3%低下しており、2012年8月以来19カ月連続マイナスが続いている。府県別では滋賀県で同+1.4%、和歌山県で同+0.5%と上昇したもの、それ以外の府県では低下した。また京都・大阪・兵庫の加重平均をとった「関西コア」賃金指数(APIR推計)は3月が同+0.6%と2013年4月以来11カ月ぶりのプラスとなった。全国(確報値)では、4月は同+0.7%(前月:同+0.7%)と2カ月連続のプラスであった。

現金給与総額(前年同月比: %, 2014年4月まで)



(注) 関西・関西コア(京都、大阪、兵庫)はAPIR推計値。現金給与総額を当該常用労働者数(平成23年平均)で加重平均。

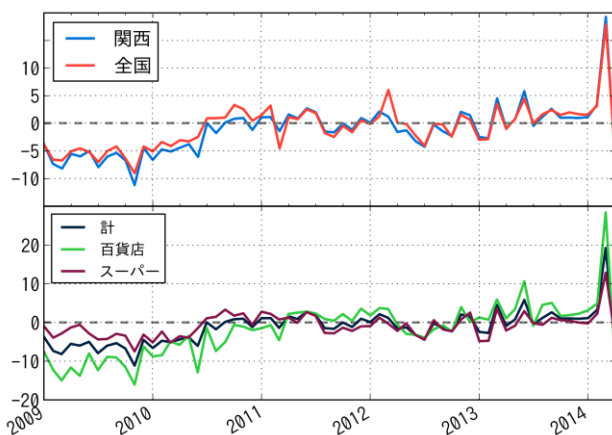
(出所) 厚生労働省「毎月勤労統計調査」(6月18日公表)

関西全体では伸び率(2月)はマイナスが続いているが、コア指数は3月にプラスに転じている。また、4月の全国の伸び率もプラスを維持していることから、今後は全国と同様、関西でも賃金の上昇が期待されるところである。

(2) 大型小売店販売額

関西の4月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(全店ベース)は、前年同月比-5.6%(前月:+19.3%)と9カ月ぶりのマイナス。百貨店も同-8.8%(前月:+28.5%)と9カ月ぶりのマイナス。スーパーは同-3.5%(前月:+12.9%)と3カ月ぶりのマイナス。小売販売は百貨店を中心に駆け込み需要の反動減の影響が大きい。

大型小売店販売額 (前年同月比: %, 2014年4月まで)



(注) 福井県を含む。

(出所) 経済産業省「商業動態統計」(平成26年5月29日公表)

全国でも、4月の大型小売店販売額(全店ベース)は同-5.4%(前月:+17.0%)と9カ月ぶりのマイナスとなっている。

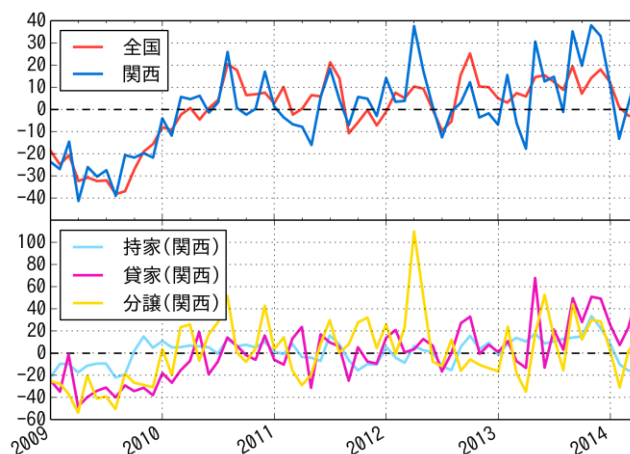
(3) 新設住宅着工の動向

関西の4月の新設住宅着工戸数は12,424戸。前年同月比+16.9%と2カ月連続の上昇。持家や分譲一戸建てを中心に駆け込み需要の反動減が本格化しているものの、貸家と分譲マンションの好調に支えられ、全体では大幅に上昇した。全国は同-3.3%と2カ月連続で下落しており、関西と対照的。

利用関係別にみると、持家は同-17.8%と3カ月連続のマイナス、分譲は同+13.7%(うちマンション:同+25.4%、一戸建:同+0.8%)と2カ月連続の上昇。貸家は同+53.4%と9カ月連続の前年比プラス。

なお5月の関西マンション契約率は81.3%(季節調整値、APIR推計)となった。好不調の目安となる70%を32カ月連続(原数値は4カ月連続)で上回り、好調を維持している。

新設住宅着工(前年同月比: %, 2014年4月まで)



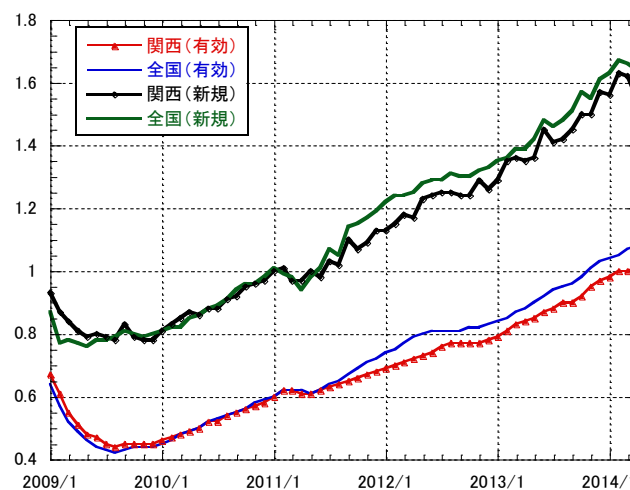
(出所) : 国土交通省「住宅着工統計」(平成26年5月30日公表)

【雇用動向】

(1) 求人倍率の動向

4月の関西の有効求人倍率は1.01倍、前月比0.01ポイント上昇しており、製造業を中心に雇用環境は引き続き改善がみられる。全国は1.08倍で、同0.01ポイント上昇しており、こちらも引き続き好調を維持。

有効求人倍率の推移 (季節調整値、2014年4月まで)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」(平成26年5月30日発表)

関西2府4県有効求人倍率(2014年4月)

	全国	関西	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県
4月	1.08	1.01	0.99	1.01	1.09	0.87	0.91	1.01
3月	1.07	1.00	0.93	0.99	1.11	0.85	0.88	0.98

4月の新規求人倍率は、関西は1.55倍と前月より0.07ポイント低下。産業別に求人数をみると、製造業で増加が続く一方で、駆け込み需要の反動から、宿泊業、飲食サービスでは減少がみられた。また、全国は1.65倍と同0.02ポイント低下し、2カ月連続のマイナスとなった。夏場を見据えて引き続き注視が必要である。

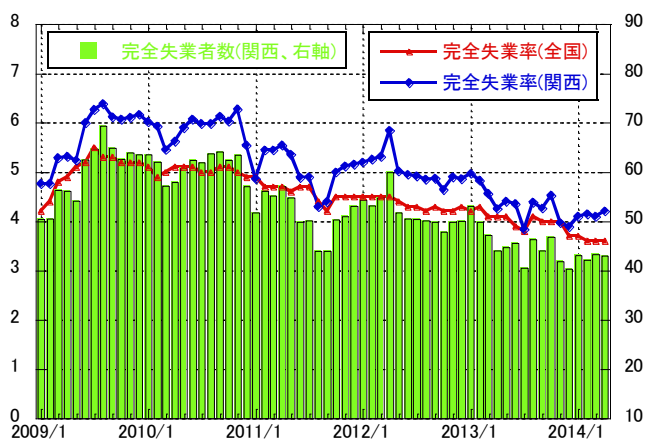
関西の有効求人倍率を府県別にみると、大阪府は新規求職者数が増えたことで1.09倍となり、前月より0.02ポイント低下。その他府県では、京都府や和歌山県で1倍台を回復しており、全国には及ばないものの大阪府を除き、いずれも前月より上昇。雇用環境の回復は関西全体にも広がっている。

(2) 完全失業率の推移

4月の関西の完全失業率(季節調整値:APIR推計)は4.2%となり、前月より0.1ポイント上昇したものの、小幅な上昇にとどまっており、雇用環境は依然として堅調。一方、全国の完全失業率(季節調整値)は3.6%となり、前月比横ばいを維持している。

関西の完全失業者数(季節調整値:APIR推計)は43.1万人。前月から0.3万人減少した。

完全失業率の推移(季節調整値:%,万人、2014年4月まで)



(出所) 総務省「労働力調査」(平成26年5月30日発表)

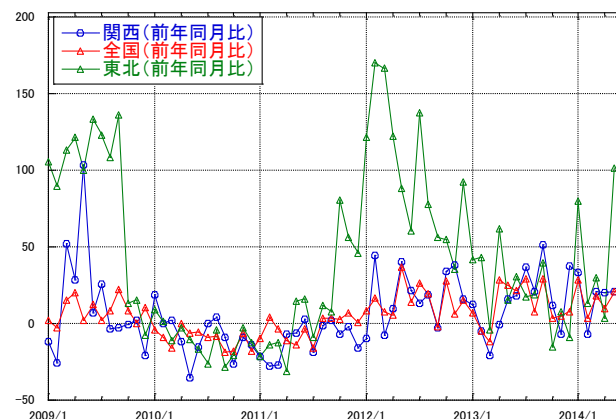
【公共投資】

(1) 公共工事請負金額

5月の関西の公共工事請負金額は1,737億円。前年同月比+21.1%と3カ月連続のプラス。伸び率は20%台が続いている。全国は1兆3,126億円と同+21.1%、14カ月連続のプラス。東北は2,808億円と同+101.8%と、42カ月連続の大幅プラス。請負金額は関西、全国共に伸び率は高水準であり、東北の伸び率は2012年7月以来の3桁となった。

季節調整値(APIR推計)で見ると、関西は2カ月連続の前月比大幅プラス(関西:同+35.2%)、全国も2カ月連続の大幅プラス(全国:同+24.6%)であった。2月に決定された補正予算の影響が出てきたようである。

公共工事請負金額(前年同月比:%,2014年5月まで)



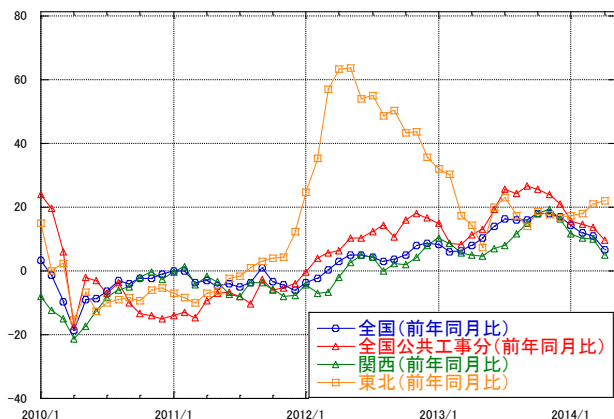
(出所) 「公共工事前払金保証統計」、東日本建設業保証株式会社

(2) 建設工事

関西4月の建設工事は4,424億円。前年同月比+4.9%と24カ月連続のプラスだが、伸び率は9カ月ぶりに1桁となった。東北は4,504億円と同+22.0%と33カ月連続のプラス。伸び率は依然20%台を維持している。全国の建設工事は同+6.6%増加し3兆5,120億円となり、27カ月連続のプラスだが、6カ月連続で減速しており、1年ぶりに1桁の伸びとなった。全国の公共工事は1兆3,783億円、同+9.7%と27カ月連続のプラスだが、7カ月連続で伸びは減速。全国的に伸びは公共工事も含め減速している。

足下、公共工事請負金額と出来高との間に乖離が見られる。これは未消化工事高の推移が近年高水準になっているためであり、今後注意が必要である。

建設工事(前年同月比：％、2014年4月まで)



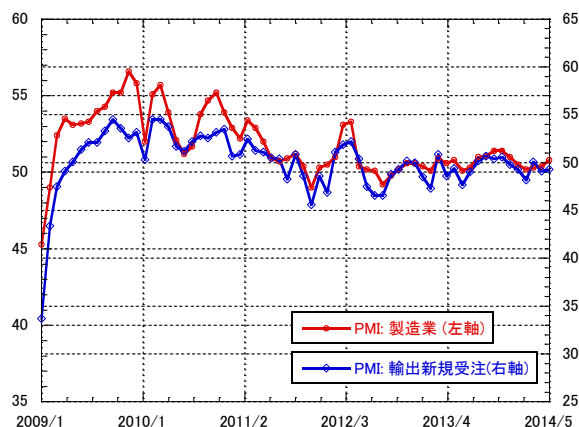
(出所) 国土交通省「建設総合統計」

【中国景気モニター】

(1) センチメント

5月の製造業購買担当者景況指数(PMI)は、前月から+0.4ポイント上昇し、50.8。3カ月連続の改善である。

中国製造業購買担当者景況指数 (2014年5月まで：％)



出所：中国国家统计局; CEIC データベース

うち、生産指数は52.8と同+0.3ポイント小幅上昇し、2カ月ぶりの改善。新規受注指数は52.3となり、同+1.1ポイン

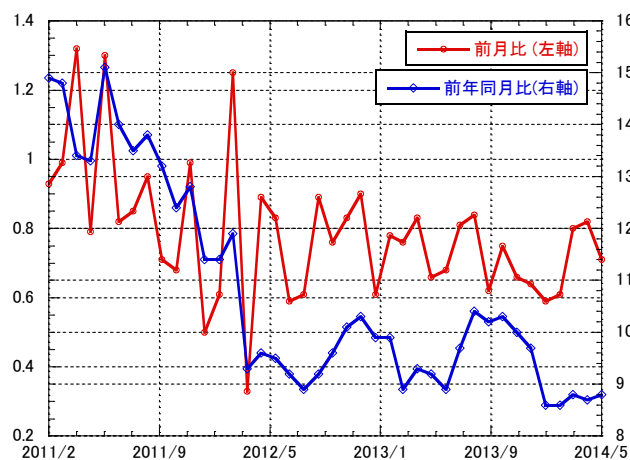
ト大幅に上昇し、3カ月連続のプラス。一方、輸出新規受注指数は同+0.3ポイント小幅上昇し49.3となったが、2カ月連続で50を下回った。また、雇用指数は48.2となり、同-0.1ポイントと幾分低下し、3カ月ぶりに悪化した。2012年6月以来、24カ月連続で50を下回っている。

(2) 工業生産

5月の工業生産は、前月比+0.7%と4カ月ぶりの減速となった。一方、前年同月比は+8.8%と前月(+8.7%)より幾分拡大した。

産業別に見ると、医薬製品製造業(前年同月比同+14.9%)、有色金属の製錬・圧延加工業(+14.2%)、鉄道・輸送機器製造業(同+14.1%)、自動車製造業(同+13.4%)が高い伸びを示す一方で、繊維工業(同+7.7%)、鉄鋼などの製錬・圧延加工業(同+7.4%)、電力・熱力生産・供給業(同+3.5%)は比較的低調な伸びにとどまった。

工業生産指数(2014年5月まで：％)

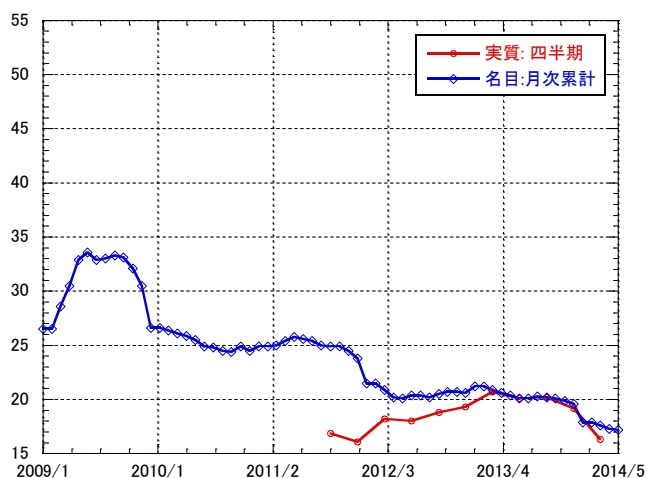


出所：中国国家统计局; CEIC データベース

(3) 固定資産投資

2014年1-5月期の(累積)固定資産投資(名目)は前年同期比+17.2%となり、1-4月期(同+17.3%)から幾分減速した。昨年1-8月期(+20.3%)以降減速が続いている。産業別に見れば、第1次産業は同+20.8%、第2次産業は同+14.0%、第3次産業は同+19.5%となった。

固定資産投資 (2014 年 5 月まで : %) (累積伸び率)

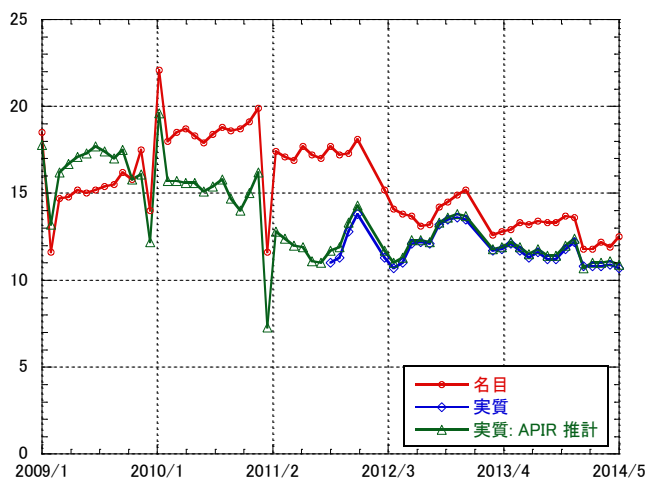


出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(4) 消費

5 月の社会消費品小売総額の名目成長率は前年同月比 +12.5% となり、前月(同+11.9%)から幾分上昇した。長期的に見れば、消費は比較的好調であり、中国経済成長のエンジンになりつつある。

社会消費品小売総額 (2014 年 5 月まで : %)



注: APIR 値は小売価格指数を用いて計算した値

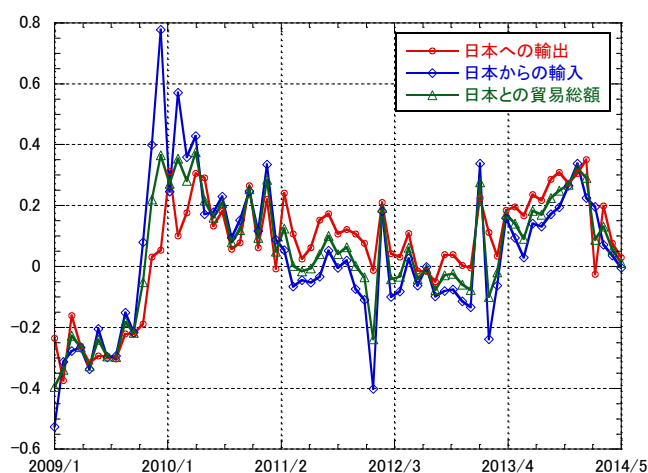
出所: 中国国家统计局; CEIC データベース

(5) 貿易動向

5 月の中国の輸出額(速報値、ドル・ベース)は前年同月比 +7.0% 増加し、2 カ月連続のプラスとなった。輸入額は同 -1.6% (速報値) となり、先月(+0.9%)よりマイナスに転じた。

うち日本への輸出額は同+2.2%と 3 カ月連続のプラスとなった。日本からの輸入額は同-1.1%と 3 カ月連続のマイナスとなった。円ベースに換算すると、日本への輸出額は同+2.9% となり、3 カ月連続のプラスとなった。日本からの輸入額は同-0.4%と 14 カ月ぶりのマイナスとなった。

日本との貿易 (前年同月比; 円ベース) (2014 年 5 月まで : %)



出所: 中国税関; CEIC データベース; APIR 計算

Contact: 岡野光洋・林万平・木下祐輔

Tel. 06-6485-7695,

E-mail. contact@apir.or.jp

【主要月次統計】

月次統計	13/05M	13/06M	13/07M	13/08M	13/09M	13/10M	13/11M	13/12M	14/01M	14/02M	14/03M	14/04M	14/05M
景況感													
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	58.7	54.9	53.2	51.4	54.6	52.8	55.8	56.1	55.6	56.3	60.8	43.6	45.9
[関西]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	58.8	55.0	52.0	48.8	53.0	50.4	54.6	54.1	53.7	53.4	60.1	40.4	43.1
[関西]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	58.1	53.5	52.9	52.3	55.9	57.7	58.5	57.3	49.9	42.0	36.0	51.4	54.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、合計)	55.7	53.0	52.3	51.2	52.8	51.8	53.5	55.7	54.7	53.0	57.9	41.6	45.1
[全国]景気ウォッチャー調査(現状DI、家計)	54.4	52.2	50.6	49.3	50.6	49.2	51.3	53.1	52.2	50.2	57.0	37.2	42.1
[全国]景気ウォッチャー調査(先行き、合計)	56.2	53.6	53.6	51.2	54.2	54.5	54.8	54.7	49.0	40.0	34.7	50.3	53.8
消費者心理・小売り													
[関西]消費者態度指数(原数値)	46.0	44.5	43.3	43.4	45.2	40.6	41.0	40.3	39.9	37.6	36.8	37.1	39.5
[関西]「暮らし向き(原数値)	43.5	42.8	41.5	40.8	42.4	38.1	38.7	37.6	37.2	34.7	34.1	34.2	37.0
[関西]「収入の増え方(原数値)	42.7	41.3	40.4	40.3	41.2	37.6	38.4	38.0	37.3	36.5	37.0	37.1	37.7
[関西]「雇用環境(原数値)	50.9	47.6	47.3	47.6	51.1	45.1	46.1	46.5	48.6	46.3	45.3	44.5	45.7
[関西]「耐久消費財の買い時判断(原数値)	46.8	46.4	44.0	44.9	46.2	41.6	40.7	39.2	36.7	33.0	31.0	32.5	37.6
[全国]消費者態度指数(季節調整値)	45.4	44.3	43.5	43.1	45.4	41.4	42.4	41.3	40.3	38.5	37.5	37.0	39.3
[関西]乗用車新規登録台数(前年同月比%)	-6.3	-10.6	-10.0	-0.5	14.0	17.9	16.2	24.6	28.2	20.8	20.4	UN	UN
[関西]家電販売額(前年同月比%)	-0.5	12.6	-13.8	4.6	-5.1	3.3	6.1	-1.2	11.0	34.4	68.6	UN	UN
[関西]大型小売店販売額(10億円)	303.7	317.2	333.5	303.7	289.4	305.0	329.6	415.9	333.3	286.5	377.8	280.8	UN
[関西]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.8	5.8	-0.4	1.2	2.7	1.0	1.1	1.0	1.1	3.3	19.3	-5.4	UN
[全国]大型小売店販売額(10億円)	1588.9	1638.5	1712.7	1582.3	1506.0	1586.0	1696.3	2139.9	1713.5	1468.6	1956.2	1466.8	UN
[全国]大型小売店販売額(前年同月比%、全店)	0.9	4.5	-0.7	0.9	1.7	0.8	1.2	0.9	0.8	2.4	17.0	-5.6	UN
住宅・建設													
[関西]新設住宅着工(戸数)	12403.0	12215.0	12622.0	11537.0	13606.0	14873.0	13938.0	14737.0	11299.0	9592.0	11170.0	12424.0	UN
[関西]新設住宅着工(前年同月比%)	30.6	12.6	14.7	-1.2	35.2	19.7	37.9	33.1	11.7	-13.3	2.5	16.9	UN
[全国]新設住宅着工(戸数)	79751.0	83704.0	84801.0	84343.0	88539.0	90226.0	91475.0	89578.0	77843.0	69689.0	69411.0	75286.0	UN
[全国]新設住宅着工(前年同月比%)	14.5	15.3	12.4	8.8	19.4	7.1	14.1	18.0	12.3	1.0	-2.9	-3.3	UN
[関西]マンション契約率(季節調整値)	78.4	76.8	83.2	79.6	83.1	78.3	79.2	71.7	72.1	80.6	75.9	73.0	81.3
[関西]マンション契約率(原数値)	82.3	80.7	87.0	81.1	80.5	79.6	76.0	69.9	65.2	77.4	77.8	74.3	85.3
[全国]マンション契約率(季節調整値)	77.3	78.2	81.9	84.7	83.5	82.4	79.4	75.0	84.2	81.8	75.4	72.4	78.1
[全国]マンション契約率(原数値)	78.1	81.6	81.6	81.5	83.5	79.6	79.6	76.1	78.6	80.6	79.8	74.7	78.9
[関西]公共工事前払保証額(10億円)	143.2	150.6	146.6	119.1	167.5	135.7	111.2	112.6	94.3	78.9	132.2	187.0	173.7
[関西]公共工事前払保証額(前年同月比%)	16.0	17.8	37.2	20.8	51.4	12.2	-7.0	37.8	33.2	-6.8	20.8	20.3	21.1
[全国]公共工事前払保証額(10億円)	1084.2	1386.8	1572.5	1226.7	1523.5	1420.5	941.6	886.0	777.6	695.9	1456.8	1758.3	1312.6
[全国]公共工事前払保証額(前年同月比%)	24.8	21.7	29.4	7.9	29.4	3.5	4.9	7.5	28.8	3.7	18.1	10.0	21.1
[関西]建設工事(総合、10億円)	426.1	443.6	453.3	483.0	521.8	540.2	569.5	595.0	592.7	585.3	567.9	442.4	UN
[関西]建設工事(総合、前年同月比%)	4.8	7.2	8.2	11.7	15.0	18.1	19.3	16.4	11.6	10.5	10.1	4.9	UN
[全国]建設工事(総合、10億円)	3312.3	3536.3	3721.3	3981.3	4319.8	4549.6	4779.7	4920.2	4672.1	4607.0	4551.9	3512.0	UN
[全国]建設工事(総合、前年同月比%)	10.3	14.2	16.5	16.1	16.2	18.1	17.9	16.9	14.3	12.1	10.9	6.6	UN
[関西]建設工事(公共工事、10億円)	1189.8	1289.5	1397.5	1567.3	1811.8	1997.6	2171.5	2259.8	2111.5	2123.8	2124.6	1378.3	UN
[全国]建設工事(公共工事、前年同月比%)	12.9	19.3	25.8	24.3	26.7	25.6	24.2	20.9	15.7	14.7	13.8	9.7	UN
生産													
[関西]鉱工業生産(季節調整値、05年=100)	103.0	99.5	102.2	102.7	102.9	104.1	102.7	103.9	105.9	105.3	105.9	106.6	UN
[関西]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	2.4	-3.4	2.7	0.5	0.2	1.2	-1.3	1.2	1.9	-0.6	0.6	0.7	UN
[関西]「出荷指数(原数値、前年同月比%)	-0.5	-3.7	3.2	-1.9	-0.2	0.5	1.0	3.6	8.5	6.3	6.7	3.7	UN
[関西]「在庫指数(原数値、前年同月比%)	-1.1	-3.0	0.9	-1.2	0.5	1.5	0.7	3.1	3.1	3.0	2.4	3.5	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、05年=100)	101.9	99.2	102.2	101.1	100.6	101.8	102.8	103.1	107.5	106.3	106.7	103.0	UN
[関西]「出荷指数(季節調整値、前月比)	1.6	-2.6	3.0	-1.1	-0.5	1.2	1.0	0.3	4.3	-1.1	0.4	-3.5	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、05年=100)	110.9	110.9	113.2	111.7	112.6	114.1	112.7	115.5	114.9	114.5	112.8	114.7	UN
[関西]「在庫指数(季節調整値、前月比)	-1.0	0.0	2.1	-1.3	0.8	1.3	-1.2	2.5	-0.5	-0.3	-1.5	1.7	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、10年=100)	97.7	95.0	97.6	97.1	98.6	99.2	99.5	100.0	103.9	101.5	102.2	99.3	UN
[全国]鉱工業生産(季節調整値、前月比)	2.1	-2.8	2.7	-0.5	1.5	0.6	0.3	0.5	3.9	-2.3	0.7	-2.8	UN
[全国]「出荷指数(原数値、前年同月比%)	-2.2	-5.2	1.4	-1.4	4.6	6.3	6.6	6.4	9.3	6.5	6.5	2.4	UN
[全国]「在庫指数(原数値、前年同月比%)	-2.7	-2.9	-2.8	-3.4	-3.5	-3.6	-5.1	-4.3	-3.9	-3.4	-1.4	-1.9	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、10年=100)	96.4	94.5	96.0	96.1	97.7	99.0	99.1	99.3	104.4	103.4	103.2	98.0	UN
[全国]「出荷指数(季節調整値、前月比)	0.7	-2.0	1.6	0.1	1.7	1.3	0.1	0.2	5.1	-1.0	-0.2	-5.0	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、10年=100)	107.5	107.6	108.4	107.6	107.5	107.2	105.7	105.5	105.1	104.2	105.7	105.2	UN
[全国]「在庫指数(季節調整値、前月比)	0.4	0.1	0.7	-0.7	-0.1	-0.3	-1.4	-0.2	-0.4	-0.9	1.4	-0.5	UN
労働													
[関西]現金給与総額(2府4県、前年同月比%)	-0.9	-2.4	-0.7	-0.6	-0.5	-0.5	-0.1	-0.6	-0.8	-0.3	UN	UN	UN
[関西]現金給与総額(2府1県、前年同月比%)	-0.6	-2.1	-1.3	-0.6	-0.5	-0.5	-0.2	-1.0	-0.5	-0.4	0.6	UN	UN
[全国]現金給与総額(前年同月比%)	-0.1	0.6	-0.1	-0.9	-0.2	-0.1	0.6	0.5	-0.2	-0.1	0.7	0.7	UN
[関西]完全失業率(季節調整値)	4.4	4.2	3.8	4.3	4.1	4.6	3.9	3.9	4.1	4.1	4.1	4.2	UN
[関西]完全失業率(原数値)	4.4	4.1	3.8	4.4	4.1	4.7	3.9	3.6	4.2	4.3	4.4	4.3	UN
[全国]完全失業率(季節調整値)	4.1	3.9	3.8	4.1	4.0	4.0	4.0	3.7	3.7	3.6	3.6	3.6	UN
[関西]新規求人倍率(季節調整値)	1.37	1.46	1.41	1.41	1.42	1.51	1.48	1.58	1.56	1.63	1.62	1.55	UN
[全国]新規求人倍率(季節調整値)	1.42	1.49	1.46	1.47	1.50	1.59	1.56	1.64	1.63	1.67	1.66	1.64	UN
[関西]有効求人倍率(季節調整値)	0.86	0.88	0.89	0.90	0.89	0.91	0.94	0.96	0.98	1.00	1.00	1.01	UN
[全国]有効求人倍率(季節調整値)	0.90	0.92	0.94	0.95	0.95	0.98	1.00	1.03	1.04	1.05	1.07	1.08	UN
国際貿易													
[関西]純輸出(10億円)	-42.8	118.4	-123.2	7.1	-34.3	-112.4	-106.0	-77.0	-461.8	51.8	-110.9	-8.1	-27.7
[関西]輸出(10億円)	1216.6	1270.0	1242.8	1256.9	1254.4	1284.7	1242.3	1308.4	1087.7	1212.5	1351.7	1314.1	1231.2
[関西]輸出(前年同月比%)	11.1	7.9	10.6	15.7	5.3	14.3	15.6	10.6	10.3	15.0	3.1	8.7	1.2
[関西]輸入(10億円)	1259.4	1151.6	1366.0	1249.8	1288.7	1397.0	1348.3	1385.4	1548.3	1160.7	1462.6	1322.1	1258.8
[関西]輸入(前年同月比%)	8.2	7.2	19.9	11.4	15.9	23.9	12.2	22.6	26.6	7.6	20.0	2.7	0.0

注1：鉱工業生産 輸送機械工業は船舶・鉄道車両除く

Release Calendar for APIR Monthly

Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
2-Jun 中国製造業 PMI*) (5 月)	3-Jun 毎月勤労統計 (4 月:速報値)	4-Jun 法人企業統計 (1-3 月期調査)	5-Jun	6-Jun
9-Jun 景気ウォッチャー調査 (5 月) 消費動向調査(5 月) 中国輸出入**) (5 月: 速報値)	10-Jun 近畿鉱工業生産指数 (4 月速報)	11-Jun	12-Jun	13-Jun 商業動態調査 (4 月:確報値) 全国鉱工業生産指数 (4 月:確報値) 中国固定資産投資 (5 月) 中国工業生産(5 月) 中国消費小売総額 (5 月)
16-Jun	17-Jun マンション契約率 (5 月) 公共工事前払保証額 統計 (5 月) 建設総合統計 (4 月)	18-Jun 毎月勤労統計 (4 月:確報値) 全国貿易統計 (5 月:速報) 近畿貿易統計 (5 月速報)	19-Jun	20-Jun
23-Jun	24-Jun	25-Jun 近畿貿易統計 (5 月確速)	26-Jun 近畿鉱工業生産指数 (4 月確報)	27-Jun 商業動態調査 (5 月:速報値) 全国貿易統計 (5 月:確速) 求人倍率(5 月) 完全失業率(5 月)
30-Jun 全国鉱工業生産指数 (5 月:速報値) 新設住宅着工(5 月)	1-Jul	2-Jul	3-Jul	4 Jul

注*) 発表日は 6 月 1 日

**) 発表日は 6 月 8 日